

# 【ねがいましては】

平成26年1月24日

KYOWA SCHOOL

第279号

「合えばいい」

テストの積み重ねで、ほとんどの子がかかってしまう現象、「合えばいい」・・・。数字はとても正直者、と同時に、人の心のある一つの決めつけに染めてしまうもの・・・。勉強の本来の目的とは・・・？

知らず知らずのうちに「成績」という現代社会が作り出した魔物に支配されていきます。「合えばほめてもらえる、間違えれば叱られる」の連鎖で、知らずのうちに、自分の中に真の理解が定着していなくても、テストで高い点が取れれば、それが一番良いことなのだと信じていきます。それを最も助長するのが親の一言・・・。クラスの友だちの一言・・・。

日常生活の中にごめしている「くらべる」。このくらべが、まさに「合えばいい」の最大の原因と言ってよさそうです。

「そうか、そうだったんだ。」「うん、わかった。」といった理解が、勉強の本来の喜びの姿であると思うのですが、「合えばいい」といった感覚は、なにか興奮させた感触を与えます。さて、これをお読みになっている方のお子さんは、どちらのタイプなのでしょう。

たしかに今の季節、入試シーズン真っ只中、1点はその人の道を変えてしまうシビアな現実です。カンニングしてでも点が取れば合格がやってくるわけですから、「合えばいい」は現実そのものと言えそうです。

目的を持っての取り組み、やらされるから、仕方なしにやっている取り組み・・・。前者と後者では天と地ほどの違いがあります。目的をもっての合格は、合格の切符を手にした段階で次のステップにいち早く取り掛かります。

自身の人生を冷静に見つめれば簡単にわかること、まだ自立へ歩き始めたばかりです。一人前の大人として、プライドをもって、謙虚な姿勢で大人の方々のお世話になるには、「歩」を固めなければなりません。

ただやらされるがままにやらされてきた勉強の場合は、合格がその子にとってまったく歩を止めてしまう切符だということ承知していないと、大切なお子さんはご自分の将来をダメにしてしまうかもしれません。

当たり前です。「そうだったんだ！」という理解の感動が希薄なままになっていますので、本来の学びの姿を手にしていないわけですから、勉強は本人にとってつらいもの、邪魔物、嫌いな物のままになっています。

私は子どもたちが小学校入学時から、比べのない、評価のない、成績のない学びを与えるべきだと思っています。

その子たちひとりひとりが、その個性を十分に発揮できるような環境を整えてあげることこそが、真の学びの場ではないかと・・・。

「ぼくは、このように考えたからこそ、このように結論付けた。」というような、思考能力を身につけることこそが必要なのではないでしょうか。そこにあるものは、その子の個性であり、魅力になるからです。人の魅力とはそのようなものはずです。

大学へ行くと、いよいよ論文中心の学びへと変化していきます。ほとんどの大学の教授の方々が嘆いていらっしやること・・・論文の多くがことごとくインターネットで拾ったものであるということです。

「単位がもらえればいい」・・・これとつながるものが「合えばいい」ということになります。

合格した、次は「卒業できればいい」→「就職できればいい」(なるべく好条件の企業) 好条件とは、大企業であること・給与・休暇・労働内容等々、贅沢三昧に選びあげ、就活の日々・・・。皆、共通の希望を引っ提げての就活。

当然といえば当然です。「合えばいい」という共通したものに照準を合わせた時間がほとんどの子に浴びせられてきたことの結果だといえそうです。

小学校一年生時から、基礎に加えて個性をしっかりと延ばすことのできる教育があったのなら、ここまで共通した将来像を持たなくて済んでいるかもしれません。

さまざまな人の生きざまを見つめ、さまざまな人の今を見つめ、そこから個性あふれる魅力を感じ、目標を掲げる。

世界一おいしいクッキーを目指す。なぜならお母さんが作ったクッキーが世界一に感じたから・・・。

世界一履き心地のいい靴をつくりたい。なぜならこの前はいていた靴でおおきな靴擦れをってしまったから。

とにかく2番目役をやりたい。なぜなら1番目に輝く人が喜びに浸っている表情を見つめるのが大好きだから。

思い切り包丁を使ってみたい。だって、包丁の音を聞いていると、すっごく幸せな気持ちになれるから。

色を使う仕事に就いてみたい。なぜなら生まれて初めて見た虹が、今でも目をつむると浮かんでくるから。

野菜作りに一生をささげたい。だって、田舎のおばあちゃんが作ってくれたトマトの味が今も忘れられないから。

お医者さんになりたい。なぜなら僕が入院したとき、とても優しくしてくれたから。

おまわりさんになりたい。なぜなら人を助けることが人一倍大好きだから。

お母さんになりたい。だって世界で一番お母さんが好きだから。

お父さんみたいな人と結婚したい。だって、お父さんが大好きだから。

今の家族のような家族が持てたらいいな。だって今の家族が大好きだから・・・。

ありがとうね！ひとりひとりしっかり輝くんだよ。「合えばいい」ちっぽけだろ！